

## 総合研究の成果発表 蘇南高

総合学科を設置する (長) でこのほど、第 5 蘇南高校 (杉村修一校) 回総合研究発表会が開



「総合研究」の成果を発表する 3 年生

かれた。3 年生の代表が全校や保護者、地域住民の前で、必修修科目「総合研究」(週 2 時間)の時間に各自が

テーマを定め、1 年間を通して研究に取り組んだ成果を発表した。今月上旬に校内選考を経た 8 人と 3 グル

プが発表した。木曾の郷土料理と長寿の関係を調べた「郷土料理と健康」や、体育館前の手洗い場に照明を設置するなど、校内の不便な点を解決する「環境整備事業」など、特色ある研究の成果が報告された。

末松天樹君 (18)、夏麻芽衣さん (18)、新井瑞希さん (18)、木村優里さん (18)、新谷泰基君 (17) の 5 人は「地域活性化」南木曾の食材を使った商品開発」と題し、田立産の緑茶を使ったパンやクッキーの商品開発

をしたことを発表し「地域活性化は活動を継続することが大事」と結論つけた。発表を終え、木村さんは「研究を通して、町の特産品を PR できた」、新井さんは「南木曾の新しい魅力を発見できた」と話していた。

「総合研究」は自ら課題を見つけて、解決する力やプレゼンテーション能力を養う狙いがある。総合学科主任の岡沢啓司教諭は「年々、主体性が高まり、研究を進めている印象」と話していた。(細野はるか)